

令和4年12月吉日

保護者様

狭山市立中央中学校
校長 中村 洋一郎

生徒への交通安全指導の徹底に関するお願い

師走の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、12月に入り、地域の方から、本校の交通安全指導に関するご指摘を2件受けました。また、先日実施した、学校教育に関するアンケート B（保護者用・記述式）にも交通安全指導に関するご意見をいただきました。警察庁の統計によれば12月は例年、交通事故が年間で最も多い月だそうです。

つきましては、生徒が交通事故に遭わないためにも、ご家庭でも交通ルールの遵守とマナーについてご指導をお願いします。

《地域の方からご指摘いただいた内容》

1. 自転車に乗っている生徒が、道路の中央を走行している。大変危険である。
*歩行者が横に広がらないようにすることについても指導しました。
2. 道路をショートカットして、敷地内の駐車場を通っている。車のすれすれ、もしくはバッグを車にこする。大変迷惑をしている。

《学校教育に関するアンケート B》一部抜粋

保護者の立場から気になることがあります。それは、自転車通学の生徒たちの交通ルールとマナーに関してです。特に気になる点について記述させていただきます。

1. 2列・3列走行をしていて、喋りながら帰っている。先日は、車にクラクションを鳴らされていました。
2. 減速せずに、右左折してくる。右側通行、車両と壁のすき間をすり抜ける。
3. 学校が見えなくなる、ある一定の区間からヘルメットを脱ぎ、走っている。
4. 下り坂を全力でペダルを漕ぎ、猛スピードで走行している。
5. 道路の曲がり角で停まって喋っていて、車から死角になり大変危険である。

自転車通学の生徒へは、学校でもご指導いただいていることは、子供を通して把握しています。そして、交通ルールやマナーを教えるのは学校だけではなく、各家庭で親が我が子にしっかりと伝えることが大切だと思っています。この家庭でも、自転車のルールとマナーについて、しっかりと我が子と向き合っていくことを学校からお知らせ等していただけたらと思っています。

中学3年間、全生徒が安全に通えることを願っております。

《学校からのお願い～自分の命を守るために～》

【交通事故防止 5つの行動】

「もしかして とまる みる まつ たしかめる」

1. 交差点での一時停止による安全確認を確実に言い、道路への飛び出しは絶対にしないこと。
2. 自転車乗用中は運転に集中し、「ながら運転」は絶対にしないこと。
 - (1) 携帯電話、ヘッドホン等を使用しながらの運転はしない
 - (2) ヘルメットを必ず着用する。